

4 黒島地区を支える団体

◎連合町内会

黒島地区には8つの町内会があり、各町内会では、毎年6月下旬と10月上旬に道路の清掃・草刈を行っています。

この活動は各世帯から1人、年齢には制限無く、元気な方に参加をお願いします。

その他にも、公民館まつりや運動会などの行事を主催し、黒島地区の振興に努めています。



◎民生委員児童委員協議会

黒島地区民生児童委員協議会は、主任児童委員2名を含め6名で構成され、佐世保で一番小さい民児協です。

地域住民の身近な存在としての訪問・相談・支援活動を行っています。

その他にも、平成17年度にスタートした地区福対協事業「黒島いきいきサロン」の中核メンバーとして、高齢者の方々の「ふれあい」「交流」活動の面で活躍しています。



◎老人クラブ

クラブ数は6つで、会員総数は300余名です。町内の諸行事に、積極的な参加と協力をしています。

- (主な活動)
- ・花壇の造成など、町の「花いっぱい運動」への参加
 - ・町内道路清掃作業(年3~4回)
 - ・講演会の開催
 - ・春秋総会時の懇親会
 - ・研修旅行(嬉野方面)

年々高齢化が進んでいますが、黒島を盛り上げようと頑張っています。



◎黒島小学校育友会

小学校育友会では、休みを利用して学校全体の拭き掃除の奉仕活動をしています。

高い所の窓や蛍光灯の上などは、脚立などを使わないと子どもたちで掃除するのはとても無理です。かわいい我が子が、気持ちよく勉強や運動ができるように、いつまでもこの奉仕活動を続けていきたいと思ひます。



◎黒島中学校育友会

中学校育友会が協力して開催する「ふれあい球技大会&バーベキュー大会」には、生徒、保護者、学校職員が参加し大いに盛り上がります。

その他、魚祭りや空きビン回収、プール清掃等、多忙の中でもなんのその、15世帯ながら、どの行事にも20名前後の保護者が参加しています。

温かく力強い、「侠気(おとこぎ)」溢れる、黒島中学校育友会です。



◎青壮年会

昭和63年、黒島町の活性化のため69名の会員で発足しました。年々会員数が減少する中、残った会員で頑張っています。

手さぐりで始めた夏祭りも、今ではお盆の恒例行事になっています。また、高齢化が進む地域の支援活動も開始するなど、活動の幅を広げています。

平成20年には、発足20周年を迎え、これを記念して花火大会を計画しています。



◎青少年健全育成連絡協議会

平成19年度は、小学生29名、中学生19名と、市内でも小さな協議会ですが、毎年2回の行事を行っています。

まず、離島の地域性を活かした親子魚釣り大会の実施です。釣った魚の料理教室や全員での食事、稚魚の放流などを行っています。

11月には「のびのび少年デー」の行事として、島内駅伝大会を実施しています。小・中学生が全員参加し、島内を学年別のコースに分かれて走ります。



◎相浦漁業協同組合黒島支所

漁業は地区の基幹産業ですが、年々漁獲量の減少、就業者の高齢化、燃料の高騰など厳しい状況にあります。

活動の一例としては、十数年前から始まった磯焼け対策のために、ガンガゼの駆除を毎年数回行い、藻場の回復を図っています。

また、水イカの繁殖のために、毎年柴を延縄状にして海底に沈めて産卵場をつくっています。

皆さんおいしい魚を食べてください。



◎ながさき西海農業協同組合相浦支店黒島事業所

黒島事業所には、3名の職員が勤務しています。

金融は火・木曜の週2回で、相浦支店より2名が出張し窓口を開けています。

営農組合が8支部、女性部が7支部、和牛部会が4支部で組織され、平日は購買などの事業を行っています。



5 黒島地区福祉対策推進協議会の紹介

どのような団体？

福祉対策推進協議会(略称:福対協)は、地域の様々な団体の代表により構成され、地域住民の身近な困りごとを把握し、その解決に向けて住民参加による活動に取り組み、より住みやすい地域づくりを進めるという役割を担った組織です。

黒島地区福対協は昭和53年に設立され、構成団体のメンバーを中心に、住民の皆さんと一緒にさまざまな活動に取り組んでいます。

主な活動は？

福対協では、地域が抱えている福祉問題や住民のニーズにあった活動に取り組んでいます。ここでは、主なものを紹介いたします。

★ふれあいネットワーク★

ひとり暮らしの高齢者などが、地域で安心して生活できるように、隣近所の方をはじめとした地域住民が中心となり、安否確認や話し相手などのために定期的に訪問しています。

★ふれあい・いきいきサロン★

地区公民館などに、近くに住んでいる住民が集まり、共同で企画を考え運営していく、仲間づくりの場です。

健康体操や舞踊、会食など、みんなで楽しく活動しています。

これからも、地域の様々な団体が共に連携を深め、一緒に活動していくことでさらに充実した活動につながるのではないのでしょうか。

地域で活動されている団体の情報がありましたら、ぜひお知らせ下さい。